

児童クラブ 使用料見直し検討

福祉産業建設
常任委員会

8月9日 協議会開催

放課後児童健全育成事業は小学校の全学年対象を目標に整備をすすめ、適正な保護者負担の見直しを検討している。

Q 児童クラブの現状は。
A 6学区12クラブあり。利用者は、7月20日現在651人。

Q 低所得者層の減免の考えは。
A ひとり親世帯などの減免は考える。

Q 見直しは、分かりやすい取り組みにすべき。
A 指摘を踏まえ検討。

集落排水と下水道の使用料見直し検討

改正から6年を経過する使用料を適正な原価をもとに健全な地方公営企業運営を確保するため、見直しを検討している。

Q 見直しの時期は。
A 集落排水接続との関連もあり、実情調査後に。

Q 集落排水の安価な維持管理の手法は。
A 下水道区域と隣接する集落排水の統合。

Q 接続早くならないか。
A 町内13地区に集落排水あり、どの地区が可能か、県・関係市とも協議する。



放課後を過ごす児童クラブ (中央小学校)

7月13日から15日まで北海道石狩郡当別町、北広島市、千歳市、恵庭市を視察。

◆当別町

実証事業は、GPSを活用し、トラクターなどの正確な位置を把握運行ガイドするシステムで、自動運転、作業完了範囲、履歴データを管理する取り組みを視察。

農業の先端例として取り組み、作業時間、人件費、生産コストの削減に効果をあげられていた。
共生型地域福祉事業は地域福祉の拠点として、情報を集約し、障がい者・高齢者・子どもに対し一体的なサービス提供の場を整備し、

ロボット技術導入 実証事業視察



自動走行するトラクター (当別町)

多様な福祉活動支援の取り組みがされていた。

◆北広島市

下水道処理センター
下水・生ごみ・し尿など浄化槽汚泥を3種混合処理し、発生するメタンガスを乾燥燃料に活用。発酵残渣は肥料として農地に還元。

◆千歳市

サケのふる里水族館が隣接する道の駅「サーモンパーク千歳」を視察。

◆恵庭市

ウォーターガーデン・多目的広場併設の道の駅「花ロードえにわ」を視察。

9月定例会のあらまし

平成27年度決算

一般質問

委員会レポート

住民の声を聞く

あい・らぶ・マイタウン

岡崎市と 消防指令センター供用

総務教育
常任委員会



共同運用する岡崎市消防指令センター

8月16日 協議会開催

119番通報の受信から出動までを、迅速、確実に対応するため、幸田町と岡崎市で消防指令業務を共同運用する計画。

Q 消防指令システムの設置場所は。

A 岡崎市消防本部内に設置する高機能消防指令センター。

Q 共同運用のメリットは。

A 施設整備費用の軽減（3000万円）、指令業務人員の削減（6人を4人に）、現場到着時間の短縮など。

島原市への交流訪問

Q 供用開始の時期は。

A 平成30年4月1日から。

Q 訪問日程の概要は。

A 11月6日は、歓迎式（原城）と交流会。11月7日は、雲仙普賢岳噴火災害犠牲者追悼と見送り式など。

Q 一般参加40人の応募状況は。（応募締切は8月26日）

A 8月15日現在で41人。今後の交流は。

Q 姉妹都市提携を視野に入れ、交流事業を推進。

逃げ遅れゼロを めざす防災計画

防災・減災対策
特別委員会



町民参加の総合防災訓練

8月8日 協議会開催

近年、想定を超える浸水被害が多発していることから、平成27年に水防法が改正された。

矢作川洪水浸水想定区域図の公表と一級河川広田川の避難判断水位見直しなどと協議した。

Q 詳しい区域図はあるか。

A 豊橋河川事務所にある。

Q 氾濫浸水対策は。

A 堤防の強化、狭窄部などの改修。

Q 「想定外の氾濫」というだけで説明したことになるか。

A 現在8種類の補助対象シエルターがあり、製品によって値段に差がある。

Q 耐震の必要のある戸数は。

A 推計で約2930戸。

Q 除却補助の状況は。

A 今年度は現在1件。

Q 耐震シエルターの必要経費は。

A 耐震性のない住宅の除却建てかえに対する補助制度がある。

Q 耐震の必要のある戸数は。

A 推計で約2930戸。

Q 除却補助の状況は。

A 今年度は現在1件。

Q 耐震シエルターの必要経費は。

A 現在8種類の補助対象シエルターがあり、製品によって値段に差がある。

Q 逃げ遅れゼロをめざす木造住宅の耐震化状況

A 耐震性のない住宅の除却建てかえに対する補助制度がある。

三ヶ根駅前の 水路整備すすむ

幸田・三ヶ根駅前 整備特別委員会

8月5日 調査会開催

平成27年度は、国道23号から深溝駐在所までの区間30・8mをボックス化。

Q 平成28年度施工計画は、JR線路側までの区間31・7mのボックス化を予定。

A 国道23号三ヶ根駅前
右折車線設置計画

Q 右折帯を設けると歩道がなくなるが、危険ではないか。

A 県への要望の中に、歩道の確保も含めて提案していく。

幸田駅前区画整理事業

4街区の面積は、4127・21㎡。内、西尾信用金庫の店舗・駐車スペースが1203・67㎡の計画が示された。

Q 地権者会議の開催が少ないと思えるが。

A 前年度は、2回の全体説明会に臨み、提案をしてきた。今後は進捗状況に基づいて回数を増したい。

Q 芦谷高力線の道路幅は、駅前18m。仲田カド方面へは16mで計画。



ボックス化が予定される水路

7月20日から22日まで富山県氷見市、長野県小諸市、塩尻市、岐阜県多治見市を視察

◆氷見市駅周辺整備、商店街の活性化対策

JR氷見駅（終着駅）の玄関口を平成27年に、すべて氷見産の杉材で新装。まち中に「忍者ハットリくん」「怪物くん」などの藤子不二雄のミニユメントを置き、観光客の増加につなげていた。

◆小諸市庁舎敷地一帯の再構築

新しく市庁舎、図書館、コミュニティなどの複合施設、駐車場、公園など配置。小諸厚生総合病院を平成29年に建設して、コンパクトシティ5年計画が完了する。

◆塩尻市市民交流センター（えんぱーく）

都市再生整備など 先進地視察



忍者ハットリくんの電車（JR氷見駅）

平成22年7月にオープン
の図書館を中心とする複合施設。地上5階建の三方がガラス張り、どこにいても明るく開放感があふれていた。

◆多治見市

都市再生整備計画
駅北区画整理は、駅北市

庁舎と広場が完成しており、新たに南北100mを自由通路で結び橋上駅にしたことで、この先、まちの賑わいを感じる駅前として期待される。

9月定例会のあらまし

平成27年度決算

一般質問

委員会レポート

住民の声を聞く

あい・らぶ・マイタウン

無人走行自動車は農道が難点

地方創生特別委員会

8月2日 協議会開催

幸田町まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成28年から31年）の中間目標値の達成状況および総合戦略推進委員会開催結果を協議。

Q 中間目標成果の住民周知は。

A 議事録を町のホームページに公表する。

Q 民間企業による新産業創出の動きは。

A フタバ産業の炭酸ガス貯留による温室暖房装置開発がある。

Q 町内の無人自動走行実験からの課題は。

A 道路周辺に建物がない

農村道路や雨天の場合に処理する反応が遅れる。

企業立地の状況

須美南山は、企業庁開発で継続。須美東山は、民間企業進出を予定し協議会は解散。久保田鳳山は、県外の農業法人が進出を計画

野場松ノ本は、10月に造成工事予定。桐山・上六栗は、開発面積拡大のための事務手続き中。

Q 須美東山の今後は。

A 地元関係者、コンサルタントで調整される。

Q 久保田鳳山は、農業法人進出でよいか。

A 地権者は了解している。



無人走行自動車実験の説明

6月30日から7月1日まで茨城県つくば市など視察

◆つくば市

つくば国際戦略総合特区は、科学技術の集積を活用したライフイノベーション・グリーンイノベーションの推進を目的に筑波大学などの産官学連携で特区の指定を受けている。

特徴は、国などの機関が29、民間含め160人以上で研究者1万5000人の大規模で形成されている。

ライフイノベーションでは、次世代がん治療やロボット開発、グリーンイノベーションでは、藻類バイオマス、ナノテクノロジーの研究がされている。

◆筑波大学

小林正美准教授の研究室を訪問。

つくば国際戦略

特区を視察



筑波大学小林正美准教授の研究室

同准教授は、将来の科学者をめざす児童生徒育成のため理科実験のおもしろ教室を開催している。

◆サイエンスつくば

この施設では、18000

年に導入された測定器（m・kg）など100年を超える技術革新の成果や世界最先端の技術が紹介されている。



表紙写真の紹介
小学校の給食用食器をPEN樹脂製に変更するのを機会に、深溝小学校の配膳の様子を、議会広報特別委員会全員で撮影取材しました。

議会広報の編集技術を学ぶ

議会広報特別委員会



アイリス愛知で研修会

平成28年度
愛知県町村議会広報研修会
7月29日、アイリス愛知で開催された。
議会広報サポータの芳野政明氏による「議会広報の基本と編集技術」の講演と

クリニックがおこなわれた。本町の議会広報は「内容・技術とも全国トップレベル」との評価を受けた。今後も「住民に読まれ、議会活動が伝わる」広報紙の編集をめざしていきたい。

一般質問その後 追跡

あの答弁は
どうなったの!

平成27年9月定例会
水野千代子 議員
健康マイレージ事業の導入を

問 「健康の町宣言」こうした健康の日は制定している本町である。「健康マイレージ事業」の早期導入を。

答 早期実現に向け検討する。



健康マイレージ始まる

その後
幸田町は、平成28年7月から町内在住の20歳以上の方を対象に事業を開始。

今年度のカードの交付申請は、9月から来年1月末日まで。カードを取得すれば、記念品抽選会にも参加できる。

※健康マイレージ事業とは、健康に関する取り組みをおこない、一定以上の健康マイレージポイントを獲得した方に、県内で利用できる特典カードが交付される制度。